

【教科】道徳

【学習者】4年1組 32名

【授業者】若林 鮎美

【授業日】令和7年9月20日(土) 2校時

【主題名】

公正・公平な態度で接する

【資料名】

人によって態度を変えるのはだめ？

【ねらい】

人によって態度を変えてよいときといけなときがあることに気付き、好き嫌いなどにとらわれずに公正・公平な態度で接することができているか、自分を見つめる。

内容項目

C 公正、公平、社会正義

【本時のねらい】

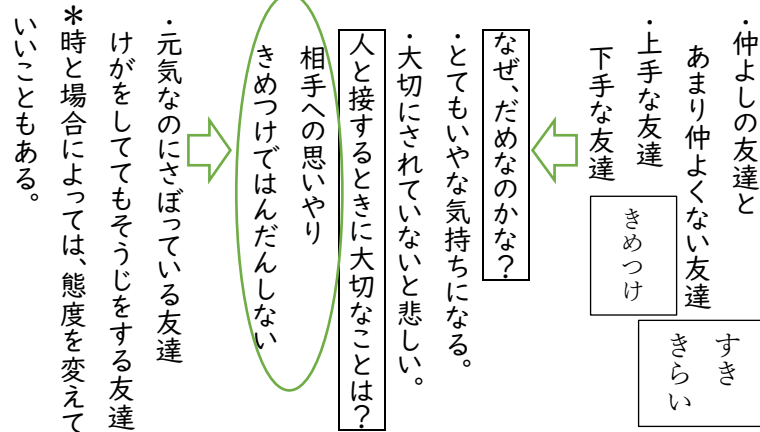
好き嫌いなどにとらわれずに公正・公平な態度で接することの大切さに気付き、自分の行動を考える。

【本時の評価規準】

好き嫌いなどにとらわれずに公正・公平な態度で接することの大切さに気付き、自分の行動を考えることができていくか。

場面絵

場面絵



九月 二十日
道徳
主題 人によって態度を変えるのはだめ？
ねらい 公正・公平な態度について考えよう
人によって態度を変える人をどう思う？
○・・・そういうこともあると思う。
×・・・そういう人は好きになれない。
いじめにつながると思う。
人によって態度が変わってしまうのはどんなとき？

まとめ	展開	導入	学習過程
・今後、自分がどのような生活を送りたいかを考え、振り返る。	・好き、嫌いなどによって態度を変えてはいけなものは、どうしてか考える。 ・公正・公平な態度でいることの大切さについて、自分のこととして考え、共有する。	・公平・公正な態度について考える。	学習活動
10分	25分	10分	時間
☆好き嫌いなどにとらわれずに公正・公平な態度で接することの大切さに気付き、自分の行動を考えることができていく。 (ワークシート)	・理由を考えさせ、公正・公平な態度でいることの大切さについて気付かせたい道徳的価値へとつなげる。 ・様々な考えを共有し、自分の考えを広げさせる。	・役割演技をもとに、何を判断基準に態度を変えているのか気付かせていく。 ・これまでの生活経験から感じたことを発表させ、道徳的価値への導入を図る。	・指導上の留意 ☆評価方法(観点)